



## 2019年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月8日

上場会社名 北川精機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6327 URL <http://www.kitagawaseiki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 雅敏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 小林 由和

TEL 0847-40-1200

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年6月期第2四半期の連結業績(2018年7月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	2,371	0.8	253	28.2	243	32.1	138	19.9
2018年6月期第2四半期	2,389	60.1	198	90.9	184	83.1	172	39.0

(注) 包括利益 2019年6月期第2四半期 169百万円 (9.6%) 2018年6月期第2四半期 187百万円 (52.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	18.08	
2018年6月期第2四半期	22.57	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期第2四半期	7,135	2,046	23.3	217.54
2018年6月期	6,881	1,884	22.2	199.99

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 1,663百万円 2018年6月期 1,529百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期		0.00		0.00	0.00
2019年6月期		0.00			
2019年6月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	6.5	380	21.0	370	22.7	230	14.8	30.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年6月期2Q	7,649,600 株	2018年6月期	7,649,600 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2019年6月期2Q	1,838 株	2018年6月期	1,796 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年6月期2Q	7,647,779 株	2018年6月期2Q	7,647,804 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想修正は、本資料発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の向上や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調で推移する一方、世界経済は米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速による下振れリスク等により、先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループは、当連結会計年度より新中期経営計画「革新と創造への挑戦～独創性で輝き続けるKITAGAWAへ～」をスタートしております。基本的な方針は前計画を引き継ぎながらも、環境の変化に合わせ、より機動的・能動的に新たな市場の動きを捉えて事業化を目指すとともに、将来に向けて安定的・持続的な成長基盤を整備するため、3つの重点項目「独自コア技術の新分野・新市場への積極展開」「徹底した工程管理と原価削減による収益性・競争力・製品/サービス品質の向上」「創造性と自主性に溢れ、継続的な成長を支える活力ある強い組織作り」に積極的に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,371百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業利益253百万円（前年同四半期比28.2%増）、経常利益243百万円（前年同四半期比32.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益138百万円（前年同四半期比19.9%減）となりました。

なお、当社グループは、主要製品が個別受注生産によるため、製品の受注金額・納期にバラツキがあり、大型案件になるほど売上までに相当期間を要し、月単位での売上高が大きく変動するという特徴があります。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### (産業機械事業)

プリント基板成形用及び基板関連プレス装置や、自動車部品製造・樹脂成形装置などの多様な受注を獲得しておりますが、海外向けの売上が第3四半期連結会計期間以降に集中しているため、売上高1,585百万円（前年同四半期比24.6%減）、営業利益144百万円（前年同四半期比32.6%減）となりました。

#### (建材機械事業)

合板プレス装置を中心とした国内外向けの売上が堅調に推移したことや、前連結会計年度においては第4四半期連結会計期間に売上が集中していたため、売上高697百万円（前年同四半期比207.4%増）、営業利益98百万円（前年同四半期は10百万円の損失）となりました。

#### (その他)

油圧機器の売上が堅調に推移しており、売上高88百万円（前年同四半期比46.2%増）、営業利益12百万円（前年同四半期比62.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は7,135百万円となり、前連結会計年度末に比べて253百万円の増加となりました。増加の主なもの、受取手形及び売掛金295百万円、仕掛品420百万円、減少の主なもの、現金及び預金546百万円であります。

##### (負債)

負債は5,089百万円となり、前連結会計年度末に比べて92百万円の増加となりました。増加の主なもの、支払手形及び買掛金105百万円、電子記録債務157百万円、減少の主なもの、長期借入金74百万円であります。

##### (純資産)

非支配株主持分を含めた純資産は2,046百万円となり、前連結会計年度末に比べて161百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益138百万円によるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ546百万円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は408百万円（前年同四半期は408百万円の獲得）となりました。収入の主なもの、税金等調整前四半期純利益236百万円、仕入債務の増加額263百万円、支出の主なもの、売上債権の増加額295百万円、たな卸資産の増加額415百万円、未払金の減少額100百万円、法人税等の支払額84百万円あります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は45百万円（前年同四半期は20百万円の使用）となりました。支出の主なものは、有形固定資産の取得による支出38百万円であります

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は92百万円（前年同四半期は93百万円の使用）となりました。支出の主なものは、長期借入金の返済による支出84百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経営環境を勘案して通期の業績予想の見直しを行い、2018年8月17日発表の予想を修正しました。

詳細につきましては、本日発表の「2019年6月期第2四半期連結累計期間業績予想の実績値との差異及び2019年6月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,362,009	1,815,826
受取手形及び売掛金	1,211,025	1,506,323
商品及び製品	13,602	355
仕掛品	656,073	1,076,935
原材料及び貯蔵品	119,410	127,041
その他	36,320	119,409
貸倒引当金	△4,225	△4,186
流動資産合計	4,394,215	4,641,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	597,794	580,893
土地	1,495,753	1,495,753
その他(純額)	209,322	230,714
有形固定資産合計	2,302,869	2,307,361
無形固定資産	22,115	23,314
投資その他の資産		
その他	173,463	174,166
貸倒引当金	△10,878	△10,841
投資その他の資産合計	162,585	163,325
固定資産合計	2,487,570	2,494,001
資産合計	6,881,786	7,135,707
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	848,003	953,320
電子記録債務	421,875	579,637
短期借入金	1,375,000	1,375,000
未払法人税等	94,804	76,374
賞与引当金	26,032	32,194
役員賞与引当金	9,600	4,000
製品保証引当金	36,512	32,097
受注損失引当金	28,800	—
その他	755,969	706,901
流動負債合計	3,596,597	3,759,524
固定負債		
長期借入金	929,435	855,297
役員退職慰労引当金	50,027	55,195
退職給付に係る負債	387,301	386,677
その他	33,818	32,897
固定負債合計	1,400,581	1,330,068
負債合計	4,997,179	5,089,592

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,335,010	1,335,010
資本剰余金	1,340,745	1,340,745
利益剰余金	△1,154,118	△1,015,848
自己株式	△1,094	△1,114
株主資本合計	1,520,542	1,658,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,462	△1,304
為替換算調整勘定	7,457	6,222
その他の包括利益累計額合計	8,919	4,918
非支配株主持分	355,145	382,404
純資産合計	1,884,606	2,046,114
負債純資産合計	6,881,786	7,135,707

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
売上高	2,389,364	2,371,091
売上原価	1,833,384	1,748,055
売上総利益	555,979	623,035
販売費及び一般管理費	357,870	369,091
営業利益	198,109	253,944
営業外収益		
受取利息	402	357
受取配当金	489	518
為替差益	5,690	2,102
受取賃貸料	—	4,200
その他	6,932	2,638
営業外収益合計	13,515	9,817
営業外費用		
支払利息	20,780	18,554
固定資産除却損	9	0
その他	6,578	1,834
営業外費用合計	27,368	20,388
経常利益	184,256	243,373
特別利益		
受取保険金	—	15,130
特別利益合計	—	15,130
特別損失		
災害による損失	—	22,319
特別損失合計	—	22,319
税金等調整前四半期純利益	184,256	236,183
法人税等	18,309	62,854
四半期純利益	165,946	173,329
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,696	35,059
親会社株主に帰属する四半期純利益	172,642	138,269

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	165,946	173,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,612	△2,766
為替換算調整勘定	15,817	△1,234
その他の包括利益合計	21,430	△4,001
四半期包括利益	187,376	169,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	194,072	134,268
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,696	35,059



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	184,256	236,183
減価償却費	36,865	37,056
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,660	6,161
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,000	△5,600
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17,223	△623
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,135	5,168
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△3,786	△4,415
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△25,618	△28,800
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,885	△57
受取利息及び受取配当金	△891	△876
支払利息	20,780	18,554
為替差損益 (△は益)	△152	△1,665
固定資産除却損	9	0
災害損失	—	22,319
受取保険金	—	△15,130
売上債権の増減額 (△は増加)	241,335	△295,444
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△246,163	△415,524
仕入債務の増減額 (△は減少)	131,423	263,079
前渡金の増減額 (△は増加)	1,731	△51,852
前受金の増減額 (△は減少)	211,438	52,494
未払金の増減額 (△は減少)	△39,872	△100,855
未払費用の増減額 (△は減少)	△36,792	10,235
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△15,646	△31,709
その他	△5,911	2,028
小計	470,138	△299,272
利息及び配当金の受取額	891	876
利息の支払額	△20,600	△18,470
災害損失の支払額	—	△22,319
保険金の受取額	—	15,130
法人税等の支払額	△41,907	△84,447
営業活動によるキャッシュ・フロー	408,522	△408,503
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,300	△6,300
定期預金の払戻による収入	6,000	6,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△26,208	—
有形固定資産の取得による支出	△21,880	△38,212
有形固定資産の売却による収入	2	85
無形固定資産の取得による支出	△1,733	△4,913
投資有価証券の取得による支出	△1,010	△1,037
保険積立金の積立による支出	△3,276	△1,139
保険積立金の解約による収入	34,490	—
その他の支出	△268	△291
その他の収入	8	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,176	△45,791

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△785,804	—
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△302,282	△84,486
自己株式の取得による支出	—	△20
非支配株主への配当金の支払額	△5,200	△7,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,286	△92,306
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,886	417
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	296,946	△546,182
現金及び現金同等物の期首残高	1,194,691	2,359,009
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,491,637	1,812,826

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	産業機械事業	建材機械事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,101,957	227,034	2,328,991	60,372	2,389,364	—	2,389,364
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	—	32	23,968	24,000	△24,000	—
計	2,101,989	227,034	2,329,023	84,341	2,413,364	△24,000	2,389,364
セグメント利益又は損失(△)	214,093	△10,354	203,738	7,633	211,372	△13,263	198,109

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主にたな卸資産の調整額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	産業機械事業	建材機械事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,585,032	697,816	2,282,848	88,242	2,371,091	—	2,371,091
セグメント間の内部売上高 又は振替高	849	—	849	27,116	27,965	△27,965	—
計	1,585,881	697,816	2,283,698	115,358	2,399,056	△27,965	2,371,091
セグメント利益	144,195	98,067	242,263	12,410	254,673	△729	253,944

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。